

平成24年度初期臨床研修医マッチング結果について

平成24年10月25日（木）に、医師臨床研修マッチング協議会から平成24年度のマッチング結果が公表されました。本県内の臨床研修病院にマッチングした医学生は131人。昨年度の105人と比較すると26人の増加となり、制度開始以降（平成16年）最大となりました。

今後も地域全体で研修医を育てていく研修体制の充実、全病院の充足率が上がるよう関係者一丸となり取り組んでまいります。

茨城県医師臨床研修連絡協議会 会長 **山口 高史**
(独立行政法人国立病院機構水戸医療センター統括診療部長)

茨城県にとって平成24年の初期臨床研修医のマッチングは、前年の震災や原発事故によるイメージの低下、また、平成23年度マッチ数105人という結果から厳しいものになるかも知れないと危惧しておりましたが、結果は予想を上回り大変よいものとなりました。マッチ者数の実数で26人の増加、マッチ率では16.5%増と全国トップの増加率でした。これは前号で紹介のあったNPO法人「水戸若手医師を育てる会」の活動や各病院の関係者の協力、また県をはじめとする行政機関の皆様の努力の賜物と考えています。

全国の医師充足率で下位に沈んでいる本県にとって、初期臨床研修医の獲得は重要な命題と位置づけられています。もちろん研修医の増加が直接的に現状の打破につながるとは考えていません。川で生まれた鮭がまた故郷の川に戻ってくるように、たとえ一時的に本県を離れたとしても一人前になってまた本県に戻ってくることを願って、よりよい研修環境を整えることがわれわれの使命と考えています。今後とも関係各位の更なるご協力をお願い申し上げます。



合同説明会の様子（つくば・秋葉原）

臨床研修医マッチングの実績状況

	平成24年度						平成23年度					
	募集定員			マッチ者数			募集定員			マッチ者数		
	総数	大学病院	市中病院	総数	大学病院	市中病院	総数	大学病院	市中病院	総数	大学病院	市中病院
全国	10,519	4,883	5,636	7,908	3,612	4,296	10,550	4,984	5,566	7,951	3,746	4,205
茨城県	178	86	92	131	76	55	184	96	88	105	66	39

初期臨床研修医採用者に占める県内高校出身者の割合

	H23年4月採用	H24年4月採用
全体	41%	37%
筑波大を除く	49%	48%

平成24年度マッチ率増減率

1位	茨城県	16.5ポイント
2位	京都府	11.8ポイント
3位	岡山県	9.9ポイント

「合い言葉は、地球医療。地域医療と国際医療を推進しています」 ～国際医療を目指す医師からのメッセージ

茨城県結城市で、国際的な医療活動をされている医療法人厚友会 城西病院の理事長 多田正毅さんと、副院長・国際小児医療センター長の白石裕比湖さんに、地域医療や国際医療の現状と展望についてお話いただきました。

●専門分野の経験を生かし、地域の小児医療への期待に応えたい。

…国際小児医療センターを開設されますが、どのような施設ですか？

白石 国際的な小児科医の育成拠点として開設します。県西地域の小児科医不足解消の役割を担うとともに、タイやミャンマーなど開発途上国からの研修医を受け入れます。これまでも30年間、多田理事長がカンボジアやタイなどに医師を派遣してきましたが、一人の医師が診察できる人数には限りがあるので、日本で医師を育てて現地でその技術を広めてもらいたいという理事長の思いから開設することになりました。

…白石先生がセンター長になられたいきさつと、開設にあたっての意気込みは？

白石 私は筑波大学出身で、小児循環器系が専門です。こちらの病院に来るまでは、自治医科大学附属病院の小児科教授をしていました。理事長とは、29年ほど前から知り合いで、国際的な活動にも賛同しておりましたので、自分自身にとってもちょうど良い時期かと思い、センター長を務めさせていただくことになりました。開設にあたっての意気込みとしては、結城市の小児医療や学校心臓検診や救急医療にも力を入れていきたいと思っています。当病院では小児科を2年間休診していたので、新たなスタートになります。自治医科大学の協力を得ながら小児医療に取り組んでいきたいと考えています。

…県西地域の小児科医不足についてどう思われますか？

白石 まだ結城に来て間もないのですが、専門医の数を調べましたら、確かに少ないと実感しました。救急を扱う病院も少ないと聞いています。現状を少しでも良くするために貢献

医療法人厚友会 城西病院 理事長
多田 正毅
同副院長・国際小児医療センター長
白石 裕比湖



多田先生（左） 白石先生（右）

し、専門の心臓病の分野でも、学校心臓検診にもできれば参加させていただいて組織的な活動をしていきたいと思っています。

…小児科医として印象に残るエピソードは？

白石 手術後のお子さんの患者さんがいて、ある血管が細くなって2年間ずっと寝たきりだったんです。私は1988年にサンフランシスコに行き、カリフォルニア大学サンフランシスコ校心臓血管研究所でカテーテルでバルーン拡張をして血管を広げる技術を習ってきたので、その患者さんにカテーテルを施したら1週間ほどで快方に向かい歩いて帰りました。先進医療を受ける環境があると未来は違ってきます。そういう意味からも、私たちは世界の開発途上国に目を向けています。

…医学生や研修医へメッセージを。

白石 人間は発言とか行動で評価されるので、迷ったら行動すること。若者に言いたいのはそういうことかな。例えば、地域医療をやるかやらないかと迷ったら、やった方がいい。私は茨城に来ることに迷いはありませんでした（笑）。

●開発途上国の医師のレベルを上げて、命の価値を高めていきたい。

…理事長先生が行っている開発途上国への支援は？

多田 日本国際親善厚生財団の理事長を務めておりまして、1982年からインドシナ3国の難民への医療救済活動を始めたのをきっかけに、アフリカや中東、東南アジアなどへの医療支援を行っています。また、タイのメイサイ病院と姉妹病院関係を結び、3年前にインターナショナルトレーニングセンターを設けて、日本から医師を派遣し、現地の医師や看護

師、検査技師など医療スタッフを育ててきました。国際小児医療センターでも、メイサイ病院やミャンマーのタウンジー病院から3人の研修医を受け入れます。国際小児医療センターでは、研修医は3カ月間の研修を行う予定で、年間12人を受け入れる計画です。

…グローバルな活動を始めたきっかけは？

多田 青年会議所の医療部会に所属していた時に、カンボジアの医療難民の世話をしに行ったのがきっかけです。開発途上国では、人の命が軽く見られています。まず子どもを大切にするために、小児科医を育てて、医師のレベルを上げて、命の価値を高めていきたいという思いがあります。

…今後の展望はいかがですか？

多田 国際医療と地域医療の両方を目指していきます。地球医療が、当病院の合い言葉ですからね。現地の医師が現地の患者さんを治せるようにするために、インターナショナルトレーニングセンターをつくったり、国際小児医療センターを開設したりしています。また、ドイツンコーヒーの事業も広げていきたいと思っています。病院内にも、ドイツンコーヒーのショップがあるのですが、これは麻薬撲滅支援のコーヒーなのです。タイ北部山岳地帯にあるドイツン地区では、かつて麻薬の栽培に生活を依存していました。タイ王室メーファールワン財団は1987年から30年計画で、住民に麻薬の栽培をやめさせる代わりに、コーヒー、マカデミアナッツ、陶器、民芸品などの産業を行わせる支援活動を行っています。

日本国際親善厚生財団は、この麻薬撲滅運動への協力を行うため、本部を置く当病院に2012年7月に海外初のドイツンコーヒー店を開店しました。ドイツンで栽培したコーヒーを飲みながら、麻薬や撲滅活動について知ることができますので、現地の人の希望となる一杯をぜひ味わってください。



コーヒーを栽培する農園の様子



ドイツンコーヒーショップ

病院紹介コーナー

独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター

当院は昭和16年に霞ヶ浦海軍病院として創設され、土浦市を一望する高台に立地し、広い敷地に生い茂る小高い木漏れ日の中にあります。国立霞ヶ浦病院時代は500床でしたが、現在は250床の中規模病院として地域医療を支えています。国立病院機構は全国に144病院を有し、ネットワークを生かした人材交流や臨床研究が盛んに行なわれています。平成24年4月からは当院内に筑波大学土浦市地域臨床教育ステーションが開設され、教授をはじめとする大学教員も診療や教育にあたっています。また、病理常勤医がおり、迅速診断のほか病理解剖も行っています。

当院は2次救急病院であり、また、地域医療支援病院として紹介患者を受け入れるとともに、在宅医療や社会復帰のための退院支援を積極的に行っています。また、当院最大の特色として婦人科診療が充実しており、婦人



科の手術件数は全国トップレベルにあります。子宮腺筋症治療は先進医療を取得しており、世界各国からも患者が訪ねてきます。当院は女性にやさしい医療を目指すとともに、女性医師にも働きやすい環境を常に提案し、研修時代からのキャリアアップを継続できる体制を整えています。プライマリーケアから専門医取得、そして臨床研究と幅広く研修を行うことができます。（副院長 鈴木 祥司）



城西病院外観

研修医Relay Essay リレーエッセイ

総合病院水戸協同病院
初期臨床研修医 梶 有貴



「ツツガムシだね。ほぼ間違いない」医局で総合診療科の指導医の先生の口から珍しい疾患の名前が。それを聞きつけ担当医でもないのに研修医と耳鼻科の先生がすぐさま集合し、パソコンの前でディスカッション開始。研修医「どうやって診断したのですか？すごい、先輩はこの病歴だけで鑑別に挙げてる！」耳鼻科の先生「まさかこんな症状から発症とはなあ。これからは鑑別に入れないと。これは勉強になった」・・・

いつでもどこでも各科・世代の壁を越えたディスカッションの場ができ、知識や経験を共有できる。このような光景は当院ではありふれた、そして自分の大好きな当院に流れる“空気”です。

水戸協同病院の最大の魅力は総合診療科を中心として各科の壁を越えた診療を行っている点です。ジェネラリスト養成の日本初のモデルとして、研修医が総合診療科に属し内科の患者全てを同時に診て、各診療科の先生に専門的な知識を教えていただきながら診療を進めています。

研修医として実際に働いてみると各科の様々な知識を同時に身につける必要があり大変なことも多いですが、指導医の先生方に支えられ、患者を全人的に診ることができるようになれるよう日々精進しています。

茨城県からのお知らせ

平成25年度自治医科大学医学部入学試験のご案内

自治医科大学医学部第一次試験を行います。

受験を希望される方は、下記により出願書類を提出してください。

出願期間

平成25年1月4日（金）～
1月23日（水）午後5時必着
※消印有効期限は1月22日（火）

出願書類の提出先

〒310-8555
茨城県水戸市笠原町978-6 茨城県保健福祉部医療対策課
電話 029-301-3191（直）

提出方法

書留速達郵便、または簡易書留速達郵便にて提出してください。

第一次試験

学力試験 平成25年1月28日（月）
面接試験 平成25年1月29日（火）※学力試験及第者のみ実施

試験会場（両日とも同じ）

茨城県開発公社（茨城県水戸市笠原町978-25）

第一次試験合格発表

平成25年2月1日（金）午後1時

第二次試験日・合格発表日

※第二次試験は、平成25年2月7日（木）に自治医科大学で実施します（第二次合格発表日 平成25年2月15日（金））。



茨城県地域医療支援センター

茨城県水戸市笠原町978番6（保健福祉部医療対策課内）TEL:029(301)3191

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/isei/ishikakuho/top/index.html> E-mail:i.doctor@pref.ibaraki.lg.jp